

都道府県・指定都市における「産学官連携」の推進体制等に係る調査（令和3年11月実施） 結果の概要②

3. 各団体の取組事例の一例

総務省地域力創造グループ地域政策課

静岡県的事例(令和元年度から実施)

○ テーマ

マリンオープンイノベーションプロジェクト(MaOIプロジェクト)

○ 参画主体

静岡県、大学等研究機関(東京工業大学、早稲田大学、静岡県立大学等)、民間企業(はごろもフーズ株式会社、柿島養鱒株式会社等)、産業支援機関(公益財団法人静岡県産業振興財団、一般財団法人アグリオープンイノベーション機構(AOI機構)等)、一般財団法人マリンオープンイノベーション機構(MaOI機構)

○ 事業概要

- ・ 静岡県には、日本一深い「駿河湾」等の特徴ある海洋環境や、そこに生息する多様な海洋生物など、豊富な海洋資源がある。
- ・ これらを活用し、マリンバイオテクノロジーをはじめとした海洋先端技術を核としたイノベーションを促進することにより、海洋産業の振興と海洋環境の保全の世界的な拠点形成を目指す。
- ・ 令和2年11月に静岡県立大学と静岡県との間で、MaOIプロジェクト推進に係る連携協定を締結し、事業展開。

奈良県的事例(令和元年度から実施)

○ テーマ

戦略的基盤技術高度化支援事業「寺社等を含む木造建築において伝統的外観を維持しつつ、耐震性・耐久性を飛躍的に向上させる木柱と地面の結合方法の開発」

○ 参画主体

京都大学、大阪産業大学、株式会社瀧川寺社建築、奈良県森林技術センター、公益財団法人奈良県地域産業振興センター、一般財団法人日本建築総合試験所

○ 事業概要

- ・ 伝統的工法における掘立柱工法を対象に、その問題点である耐震性と耐久性を大きく改善し、加えて木柱の埋め込み長さの短縮をはかる接合方法の開発を行う。
- ・ 本工法を適用することで社寺建築物のみならず、中規模木造建築の新築等においても、伝統的外観や、空間の開放性を維持しながら建築基準法の定める強度を確保できる仕様を目指す。